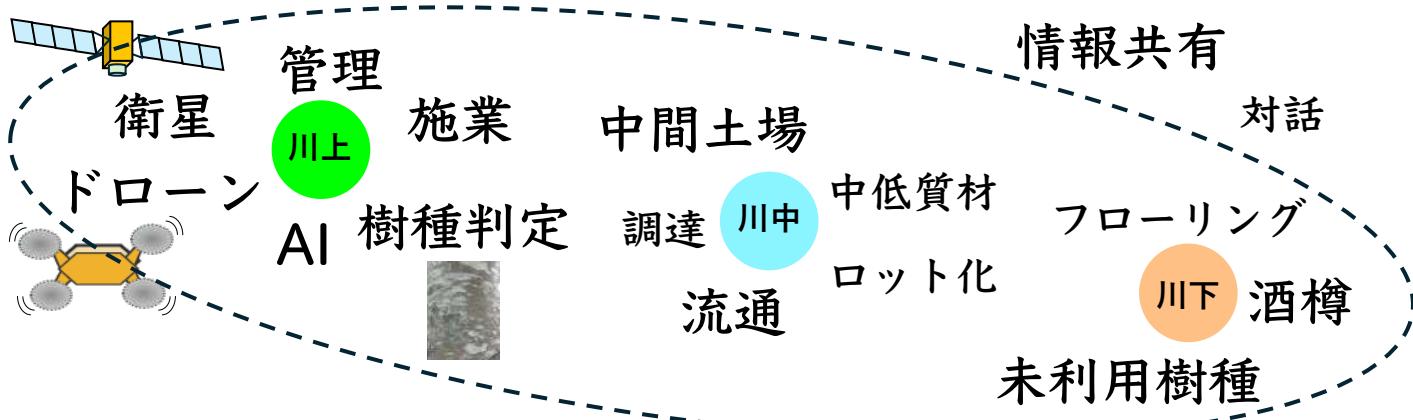


北海道の広葉樹を中心とした林業・林産業における新技術と利活用の取り組み 2

ハイブリッド開催

参加無料



日時：2026年1月19日(月) 13:00-17:40

(受付開始：12:30)

会場：TKP札幌北口カンファレンスセンター ホール2B

(北海道札幌市北区北7条西4丁目17-1 KDX札幌北口ビル2階)

定員：会場 50名（先着順）、オンライン 200名

オンライン参加のURLは前日までに登録メールアドレスにお知らせします。

参加：事前参加登録が必要です（〆切：2026年1月13日）。

下記URLまたは右QRコードから

<https://forms.gle/MWscgbSJ6L2Ze8tR9>



ウッドショック、円安、温暖化対策等の様々な観点から、北海道の広葉樹を素材として地産地消しようとする機運が高まっています。そのためには、川上における資源調査・管理と生産、川中における効率的な流通、川下における広葉樹の効率的な利用・高付加価値化、そして川上・川中・川下の相互協力が不可欠です。チャレンジフィールド北海道では、昨年度北海道の広葉樹に関するシンポジウムを開催し、道内外から200名以上の参加をいただきました。今回のシンポジウムでは、北海道の広葉樹に関わるこの1年間の最新の知見、新しい取り込みを中心に紹介します。

問合せ

ノーステック財団（チャレンジフィールド北海道）

事業戦略統括部 伊藤、上ヶ島
札幌市北区北21条西12丁目コラボほっかいどう
TEL: 011-792-6150 / E-mail: yugo@noastec.jp

プログラム

13:00-13:05 趣旨説明

13:05-13:50 川上 基調講演「北海道大学研究林における広葉樹の育林と施業」
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 吉田 俊也 氏

13:50-14:15 川上 【道産広葉樹の資源管理と可視化】
「衛星画像を用いた天然林の森林タイプ分類と材積推定の開発」
北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場森林経営部経営グループ
研究主任 蝦名 益仁 氏

14:15-14:40 「ドローン×AIによる高精度な立木単位の広葉樹分析」
株式会社日立システムズ金融事業グループ金融DX事業部第一本部グリーンゲートウェイ
サービス部第三グループ 技師 鈴木 裕一朗 氏

14:40-15:05 「北海道内広葉樹の樹種判定・単木情報取得アプリの開発」
北海道国立大学機構北見工業大学工学部機械電気系 助教 岩館 健司 氏

15:05-15:20 休憩

15:20-15:45 川中 川下 特別講演「外国産から道産への再転換は可能か：旭川木材産業の広葉樹材調達にみる産地・樹種の変化とその背景」
森林研究・整備機構森林総合研究所北海道支所 産学官民連携推進調整監 嶋瀬 拓也 氏

15:45-16:10 川中 川下 【道産広葉樹の流通の効率化と製品化】
「中間土場を活用した広葉樹低質材の新たなサプライチェーン」
北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場利用部資源・システムグループ
研究主幹 酒井 明香 氏

16:10-16:35 「チップに終わらせない：広葉樹丸太の高付加価値化」
株式会社ノーザンフォレスト/株式会社北海道バ렐 代表取締役社長 竹次 修 氏

16:35-17:00 川上 川中 川下 【地域における道産広葉樹活用のための取り組み】
「オホーツク地域が一体となった広葉樹材需給マッチングに関わる取り組み」
北海道オホーツク総合振興局産業振興部林務課 課長 佐々木 裕哉 氏
林産係 係長 成田 雅哉 氏

17:00-17:05 閉会挨拶

17:05-17:40 個別意見交換・製品紹介など（会場のみ）

【会場内製品展示】

株式会社日立システムズ

株式会社ノーザンフォレスト・空知单板工業株式会社

株式会社北海道バ렐



主催：ノーステック財団（チャレンジフィールド北海道）

後援：国立大学法人北海道大学北方生物圏フィールド科学センター、国立研究開発法人森林整備・研究機構森林総合研究所北海道支所、国立大学法人北海道国立大学機構オープンイノベーションセンター(ACE)、地方独立行政法人北海道立総合研究機構森林研究本部、北海道森林組合連合会、北海道産広葉樹利用促進研究会、日本写真測量学会北海道支部、地理情報システム学会北海道支部、STARTUP HOKKAIDO